

平成二十七年卒業論文・修士論文題目 (氏名・論文題目)

【卒業論文】

〔灰谷ゼミ〕

大倉 天

黒田 幸恵

高 潔

古玉 瑞穂

塩田優香子

豊田 華代

〔藤川ゼミ〕

尾崎 良介

玉田 春香

保手濱里沙

宮下 淳子

【日本語学】

造語における語の縮約の構造と生成の背景についての研究

家庭内言語行動における移住経験と言語受容についての研究―関西から中部地方への移住の場合―

日本語学習者の学習過程と日本への適応についての研究

【中古文学】

小野小町の夢歌―六歌仙時代の歌風を踏まえて―

藤原行成と和歌―『大鏡』の評価をめぐる―

『蜻蛉日記』中巻における聴覚表現

【中世文学】

『義経奥州下り』について

『別本八重葎』研究

『親当句集』研究

藻壁門院少将の研究

〔藤沢ゼミ〕

森 瑞希

有松 奈美

金田真佑香

黒田 萌未

松野 志帆

森田 優梨

〔柴ゼミ〕

網代 梨沙

江角 華子

奥井 栞

菊本 雅子

玉沖 望未

【近世文学】

翻刻『梶久／松山』茶筌売話説種瓢』
(『唐人鬻今国姓爺』)

『源氏思男貞女』考
翻刻『道成寺鐘魔記』

河竹黙阿弥作品にみる歌舞伎の中の女装
翻刻『真田軍功家伝記』―真田軍記の始まり―

身体にお経を書いて難を逃れる話
重松清『疾走』研究―少年はなぜ苦しむのか―

【近現代文学】

小川洋子『密やかな結晶』研究―小説家としての役割の再確認―

乱歩および『改造』に於ける「蟲」論
『猫と庄造と二人のをんな』論

物語としてのゲーム作品
―『ゼルダの伝説ムジュラの仮面』に見る物語表現―

―『ゼルダの伝説ムジュラの仮面』に見る物語表現―

中井 志保

戦後忍者ブームにおける忍者のメタ
ファーについての検証

〔藤井ゼミ〕

〔民俗学〕〔伝承文学〕

下野麻衣子

瀬戸内海における塩田文化の研究―広

花本 泰子

Jホラーの特徴―映像作品を中心に―

面坪 紀久

島根県飯石郡飯南町赤名地域の丹塗箭

久田絵理香

金城一紀作品研究―『GO』を中心に―

西垣内英香

うぶめの変遷―信仰と母性―

平井柚希子

梨花という女―若松映画における女性
像についての一考察―

渡邊 智美

フリーア美術館蔵『地藏菩薩靈驗記』
の研究―越中立山女人譚を中心に―

山本 八葉

魔法少女とカミ―登場人物にみる『魔
法少女まどか☆マギカ』論―

今川あかり

『ジーザス・クライストス―パース
ター』における「悪」の存在について

山本 理奈

『華アワセ 蛟編』和歌研究―現代にお
ける古典文学の受容―

〔小畑ゼミ〕

〔比較文学〕〔創作〕

〔原ゼミ〕

近現代文学

児玉 祐樹

テイテイ形成について―

安部 美幸

夢野久作「ドグラ・マグラ」論―〈私
とは何者か―

小林 彩香

キャラクター造形とパロディの関係
―ドラマ『Be』を例に―

岡田 直晃

梶井基次郎「冬の日」―「光」と「闇」
の表現に注目して―

近藤 那美

オーディオドラマ「最後の上映会」

平憐加代子

〔夜霧を払う灯火〕（創作）

廣岡 夕季

『灰燼のカルシエール』考―「最後の
場所」は存在するのか―

〔信木ゼミ〕

国語教育

〔光原ゼミ〕

〔創作〕

奥田 恒維

文学教材におけるテキスト・ストラテ
ジーと読者反応理論の研究

池田 美羽

近くて遠い

橋本亜由奈

国語教室における『源氏物語』受容

植村 菜月

青く柔らかなページ

安永 美砂

教育における『伊勢物語』受容―教材
としての『伊勢物語』はどのように扱
われてきたか―

香川莉歩子

傾城不問語（けいせいとはずがたり）

川口 俊平
坂元恵里香
志々田愛加
品川 瑞貴
竹口 碧人
當眞 千尋
日名子紗綾
山下 紗季

僕たちの夜の冒険
ほんの小さなこと
ふたりぼっちのせかいから
夏景色
自分の1ダース
重症ペンク
水
みついろ